

にしかわ

広報

1981

9/10

第292号

□ 発行/新潟県西蒲原郡西川町役場

□ 編集/総務課

□ 毎月10日・25日発行

実りの秋.....



夏祭りが終わると、もう秋がそこまでやってきます。
農家の人たちが丹精をこめた稲の取り入れも、もう間近……。
越後平野も黄金色に輝いて、今年も豊作が期待されます。

のど自慢大会成績

★民謡・歌謡曲
総合チャンピオン賞★
「奥飛騨慕情」
学校町 中沢 国平

	歌謡曲の部	民謡の部
金賞	「旅姿三人男」 新潟市坪山 田沢 ムツ	「もみすりうた」 矢島 中沢 秋男
銀賞	「とまり木」 新潟市五十嵐 若杉イク子	「佐渡おけき」 新潟市内野 広沢 ハル
銅賞	「大阪しぐれ」 旗屋 稲葉 勝嘉	「岩室甚句」 磯 渡辺正栄司
敢闘賞	「かえり船」 新潟市谷内 浦井 栄一	「両津甚句」 新潟市内野 長沢 フミ
努力賞	「湯の町エレジー」 新潟市五十嵐 渡辺 七衛	「相川音頭」 湯東村 穂苅 重助

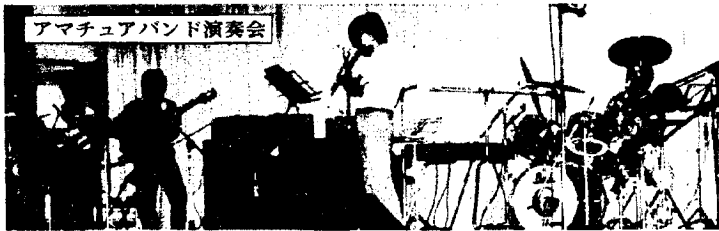
仮装盆踊り大会成績

優勝	七福神	明田 白井えつ子 他6名
準優勝	沖繩娘	六番町 二村 緑 他7名
3位	塩汲女	見帯 本間きぬ子 他3名
4位	越後獅子	九番町 大越ハルイ 他4名
5位	ボトル人形	桑山 和田テイ子 他4名
6位	ハワイ娘	善光寺 小竹あつ子 他3名

みこし渡御



写真



西川中吹奏楽部演奏会

集

盛況のうちに終わる!!

今年も盛大に西川まつりが行われました。二十四日の「のど自慢大会」では、四十名が出場し、得

意のどを披露し、翌二十五日は、子供タルみこしが元気に町内を回り歩きました。夜は民謡流しが行われ、四十二組の団体が色とりどりのゆかたで踊りを楽しませてくれました。

二十六日は、小学生のパレード、西川中吹奏楽部の演奏会が行われ、午後五時から伝統のある傘ぼこ行列が磐根神社から出発し、まつりの雰囲気を盛りあげました。夜はアマチュアバンド演奏会が行われ、夜空には花火が打ちあげられました。二十七日は雨のため、仮装盆踊り大会は、曾根小体育館で行われ、二十八日にまつり最後の行事

である、みこし渡御が磐根神社から出発し、沿道の人々もまつり最後の行事を満喫しているようでした。夜には花火が打ちあげられ、西川まつりも無事終わりました。町民各位のご支援ご協力を感謝いたします。

子供タルみこし



西川まつり'81

仮装盆踊り大会



のど自慢大会



民謡流し

町議会第2回臨時会報告

町議会第2回臨時会は、8月31日招集され、町長提出議案3件のうち、監査委員選任議案(2件)については同意し、助役選任議案については、討論半ばに休憩に入り、再開、自然閉会となりました。

会議のあらまきは次のとおりです。

月日	曜日	摘要	出席議員
8.31	月	・開会 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・町長提出議案(3件)の審議 ・閉会(自然閉会)	22名

本臨時会で議決された議案は次のとおりです。

件名	審議結果
監査委員の選任について	同意
監査委員の選任について	〃
助役の選任について	審議未了

監査委員決まる
監査委員に次の2名の方が選任されました。

- 高井 倉一氏
- 二村 忠氏

県ジュニア体操競技選手権大会

個人総合優勝 畠山佳代子選手



八月九日分水町総合体育館で開催された第六回新潟県ジュニア体操競技選手権大会で、西川町体操クラブから十五名の選手が出場しました。小学生女子の部では畠山佳代子選手が念願の個人総合優勝を果たし、小学生男子の部では小野塚一昭選手が跳箱で準優勝をしました。団体総合成績では小学生女子の部で四位、小学生男子の部で五位の好成績をおさめました。

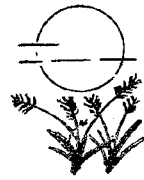
なお、この大会で十位以内に入賞した畠山佳代子、相馬陽子、小野塚一昭の三名の選手が十一月に開催される県選手権大会への出場資格を獲得しました。なお、西川クラブの成績は、次のとおりです。

小学生男子の部	マット	あん馬	跳箱	鉄棒	合計
山崎 雅弘	6.20 (22)	4.55 (29)	7.50 (19)	5.05 (25)	23.30 (24)
田中 義人	5.35 (27)	4.50 (31)	7.35 (21)	5.75 (18)	22.95 (25)
渡辺 英樹	6.35 (18)	4.65 (27)	7.65 (15)	5.30 (21)	23.95 (21)
小野塚 一昭	8.50 (3)	8.05 (5)	8.65 (2)	8.00 (6)	33.20 (4)
チーム得点(ベスト3) 以下個人出場	21.05	17.25	23.80	19.05	81.15 (5)
畠山 哲也	4.95 (30)	4.90 (23)	7.65 (15)	5.15 (22)	22.60 (27)
小学生女子の部	跳箱	鉄棒	平均台	マット	合計
阿部 久恵	7.30 (23)	7.20 (16)	7.00 (25)	5.90 (27)	27.40 (23)
田中 麻美子	7.50 (21)	7.05 (20)	7.10 (24)	6.65 (20)	28.30 (19)
佐野 律子	7.80 (14)	7.00 (21)	7.00 (25)	7.00 (17)	28.80 (17)
畠山 佳代子	8.65 (2)	8.80 (2)	9.10 (1)	8.60 (2)	35.15 (1)
チーム得点(ベスト3) 以下個人出場	23.95	23.05	23.20	22.25	92.45 (4)
藤田 裕美子	6.75	7.30 (12)	6.70 (24)	6.25 (27)	27.00 (24)
相馬 陽子	7.35 (16)	7.60 (10)	7.55 (17)	6.50 (21)	29.00 (16)
加藤 理恵	7.75 (15)	7.25 (14)	6.90 (23)	6.40 (23)	28.30 (19)
加藤 涼子	7.35 (16)	7.20 (16)	7.10 (22)	6.25 (27)	27.90 (22)
中学生女子の部	跳箱	段違い平行棒	平均台	床	合計
個人出場					
加藤 恵美子	7.75 (15)	5.75 (11)	7.50 (14)	7.50 (8)	28.50 (11)
加藤 浩愛	7.70 (17)	5.45 (14)	7.20 (17)	7.35 (8)	27.70 (16)

円内の数字は成績の順位です。

第六回新潟県ジュニア体操競技選手権大会西川クラブ成績

歳時記 お月見



月見というのは、もともと、旧暦八月十五日夜の「中秋の名月」(十五夜)と、同じく九月十三日夜の「あとの名月」をたてる行事を指します。

中秋——旧暦では七月、八月、九月の三か月が秋季で、七月を初秋、八月を中秋、九月を晩秋ということから、八月十五日夜の満月が「中秋の名月」といわれます。

「あとの名月」の旧暦九月十三日(新暦十月十日)にも、やはり団子が売れるのかと和菓子屋さんにきくと、ほとんど買う人がいないので、とくに月見用としては作っていないとのことでした。

十三夜は、だんだん忘れられつつあるようですが、十五夜の月見だけして、十三夜に月見をしないのを片見月といって思ひきらした風習も、いまでは消え去ろうとしているようです。

月見が広く世間で行われるようになったのは江戸時代からとのことと、団子、クリ、カキ、ススキ、萩草などを飾るのが一般的です。団子は、東日本では丸いのを、

西日本とくに京阪地方では里イモの形にとがらせて作るものが多くいといわれます。団子の数ですが、江戸時代には普通は十二個、うらう年には一個増やして十三個というのが一般的だったようです。いまは、十五夜にちなんだ十五個というところもあるようですが、みなさんのお宅ではいかがですか。

町職員採用試験

採用職種 行政職(一般事務補助)

募集人員 若干名

受付期間 昭和五十六年九月一日(火)から九月二十五日(金)まで

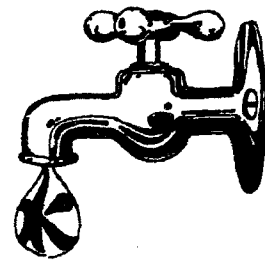
受験資格

① 昭和三十七年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生まれた方で高等学校卒業又は卒業見込みの方

② 昭和三十年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生まれた方で短期大学卒業又は卒業見込みの方

詳しいことは、役場総務課人事係へお問い合わせください。

(電話三二二一番・内線三九番)



わたしたちのくらしと水道

水道の使用量を一日の時間ごとに見たのが(図一)です。

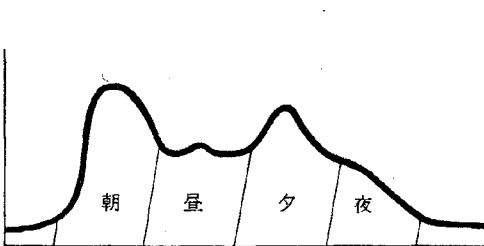
朝の使用量の増大は朝食の支度などによるものであり、そのあとは、洗濯や工場、事務所に使われます。

一年の月別で見ると(図二)のように夏に多く冬に少ないというパターンがみられます。夏に使用量が増えるのは、洗濯、散水、風呂などに多く使われるためです。夏季の池の水に使われる量も多いものです。

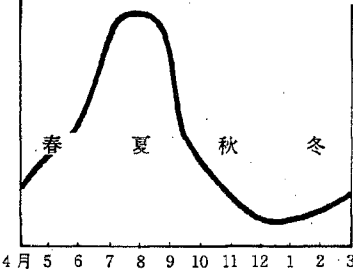
浄水場では一日中水をつくり、やすみなく送り続けていますが、深夜になると水の出てくる量が減ります。これは、水を使わない配水ポンプが自動的に圧力を調整して、配水量の少ないポンプに切り換わるためです。

水道の水は、いろいろな手間と多くの金がかかれた製品です。水道をかわいがって下さい。

(図1)時間別に見た使用量の変化

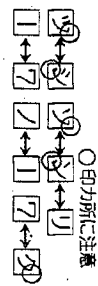


(図2)月別に見た使用量の変化



R)に読み取らせるため、労働保険の届出様式が十月一日から変わることになりました。

届出等の様式に記入する数字・カタカナ又は一部の記号を、決められた枠内に一文字ずつ、標準字体によって記入します。特に次の文字と数字は字形が似ており、誤って読み取る場合がありますので記入にご注意下さい。



筆記用具は黒のボールペンを使い、「ボタ」「カスレ」のないように書いてください。

書き損じた場合の訂正方法は、例のようにその枠の上下をやはみ出すように縦の一本線を引いたうえ、正しい文字を枠の中の右上隅に記入してください。

届出書類は、汚損、折曲げたりすると読み取りが不能になることがあります。

※詳細については、新潟労働基準監督署(025-2166-3)一三二へおたずねください。

労働保険の届出様式が改正されました

事業主から提出される書類の文字を直接光学文字読取装置(OCR)で読み取るため、



毎日育英会 奨学生を募集

毎日新聞社では、首都圏への進学希望者に対し、学生の負担をいからかでも軽くするため奨学制度を設けています。

この制度は毎日新聞販売所に勤務することにより、学費の貸与のほか、奨学金の支給、生活費の一切を保証するものです。

現在、来年度の奨学生を募集しております。ハガキに住所、氏名、高校、電話番号を記入のうえお申し込みください。「詳しいパンフレットを無料で送ります。」

〒一〇六 東京都新宿区大久保三、十四、四 毎日新聞社早稲田別館 毎日育英会係 ☎〇三、二〇九、一七一

昭和五十六年度 海上保安大学校 学生募集

○受付期間
九月十六日(水)～九月二十九日(火)

○受験資格
昭和三十三年四月二日以降に生まれた方で、次のうちのいずれかに該当するもの

- (1) 高等学校を卒業した方または昭和五十七年三月までに終了する見込みの方
- (2) 高等専門学校第三学年を修了した方または昭和五十七年三月までに修了する見込みの方
- (3) その他大学入学資格検定に合格した方等人事院が(1)と同等の資格があると認める方

○採用予定者

各課程合わせて約一四五名

○試験期日

第一次試験……昭和五十六年十一月十五日(日)

第二次試験……昭和五十七年一月二十六日(火)・二十七日(水)

○試験地

新潟市

※ 受験手続等その他詳細については、役場総務課か第九管区海上保安本部新潟航路標識事務所へお問い合わせください。

台風シーズン到来

電話モラッシュ

台風による風水害などの報道があると、被災地へのお見舞や安否を気づかう電話が一度に集中するため、被災地への電話がかかりにくくなります。

防災・救助などのための電話をかりやすくするため、できるだけ電話の利用はご遠慮くださるようお願いいたします。

九月二十日(第 三日曜日)は、 家庭の日です。

○としよりを敬い、大切に、としよりの話を聞きましょう。

○家族そろってお月見、ピクニック、サイクリングなど戸外スポーツを楽しみましょう。

○老人や両親の生いたちなどを話し合う機会を持ちましょう。

(西川町公民館)



9月の衛生行事

月日(曜)	種目	対象	場所	時間	備考
9月17日(木)	ポリオ生ワクチン投与	①S55.6.1～S56.5.31 ②前回未完了者	福祉会館	午後1:30～2:10	①投与前後30分位は飲食させないでください。 ②問診票、母子手帳持参
25日(金)	乳児産婦健康相談	①S56年7月生まれと母親 ②前回未受診者	〃	午前9:00～11:00	母子手帳、通知ハガキ持参
	乳児検診	①S56年10月11月、S56年4月5月生まれ ②前回未受診者	〃	午後1:00～2:00	〃

町民のうごき



あめてた



ごぼろん

- 氏名 生月日 保善者 部署
- 本間 貴子 〃 正道 東町
 - 山岸 舞子 〃 未由 鱧町
 - 明前 麗 〃 光壽 学校町
 - 小林 拓也 〃 晴男 上組
 - 阿部 晴美 〃 進 鱧3
 - 田村可奈子 〃 一嘉 六分
 - 大瀧 浩之 〃 登 天竺堂
 - 石田 将 〃 明夫 川崎
 - 小山 雄生 〃 博章 東崎
 - 岩崎 望 〃 正人 中島

- 氏名 生月日 保善者 部署
- 堀 恵一 〃 堀大恵知 与兵衛野
 - (伊藤友子)
 - 内藤博之 〃 内藤博之 朝日町
 - (佐藤道子)
 - 多賀藤吉 〃 正敏 押付
 - 本間ナヲ 〃 本人 押付
 - 長谷川ツキノ 〃 本人 三ツ屋
 - 石田喜作 〃 本人 松崎